

免許状教科	中学校1種(社会)・高等学校1種(地理歴史・公民・商業)		
科目名	教育の方法と技術	科目分類	教職科目
			経済学科 <input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Educational Method	開講年次	<input type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年
ふりがな	うらの ひろし	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input checked="" type="checkbox"/> 集中
担当者名	浦野 弘	修得単位	2単位
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用
授業のテーマ	授業におけるコミュニケーションやメディア活用等の理論と実践に関する基礎的能力の修得を目指す。		
到達目標	1) 授業における教師の機能を、授業のデザインという視点から、実施・評価をふまえて、解説できる。 2) 事例をもとに、授業における教育メディアの活用の意義と有効性を説明できる。 3) 教材開発の視点を、2つ以上の例を挙げて、説明できる。		
授業概要	授業を設計・実施・評価するために必要な知識や技術を習得することを目的とし、わかりやすい授業を設計する方法論、とりわけ中学校及び高等学校段階における授業内のコミュニケーションを支援する環境や方法(チームティーチングや習熟度別学習等)、学力向上に向けた取り組み、教育メディア等の活用に関する諸理論や実践記録を検討することを通して、教える(子どもが学ぶ)ための方法や技術について考える。また、学習指導案の作成及び模擬授業を行い、教師として授業を行う基礎的な知識や技術を習得する。		
授業計画			
第1回	オリエンテーション, 学ぶとは		
第2回	教育方法の歴史, 学習指導の原理と形態		
第3回	教室での学び(学習と指導の形態, 一斉授業～個別学習, 協同の学び)		
第4回	授業とコミュニケーション, 教師の役割(思考するクラスを目指して)		
第5回	授業をつくるには(授業のデザイン) 設計・実施・評価		
第6回	授業をするには(授業の実施)(とりわけ, 思考を促す発問)		
第7回	よい授業とは(授業の評価)		
第8回	学びの仕掛け①: 教材, 教科書, 板書計画		
第9回	学びの仕掛け②: 学習のねらいと評価, めあてと振り返り		
第10回	学びの仕掛け③: 情報機器の活用		
第11回	教育メディア, 教材開発の方法と技術		
第12回	動機付け, 学習意欲一高め・継続させるには		
第13回	教師の情報化		
第14回	再び, 授業をつくる(模擬授業の実施)		
第15回	授業の改善向上のために(授業実践力を培うには・教科を超えた教師の学び)		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	1. 授業前には教科書の該当箇所必ず目を通し, 分からない用語は調べてまとめておいてください(1.5時間程度×15回分)。集中講義前半分は, テキストの第1, 3, 4, 11の各章がこの対象です。 2. 集中講義後半分については, 前半の最後の講義において指示をします。特に, 宿題が課せられますので, 必ずそれをやることが求められます。		
履修条件 受講のルール	教科書を必ず購入し, 講義時には持参すること(未購入のときは上記予習ができていないと見なし, 受講できません)。配付された資料は, それ以降の講義時には忘れずに持参するようにしてください。		
テキスト	生田孝至他編(2016)『未来をひらく教師のわざ』, 一莖書房		
参考文献・資料	語義の際に, 配付する。		
成績評価の方法	・宿題等のレポート(30%)と, 最終に筆記試験(60%)を課す。また, 毎時間求められる授業内容に関するコメントや, 講義中の演習・作業への参加度(10%)も加味し, 総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は, 試験を受けることができません。 ・宿題やレポート課題は授業内で指示します。		
オフィスアワー			
成績評価の基準	秀(100～90点), 優(89～80点), 良(79～70点), 可(69～60点), 不可(59点以下)		
学生へのメッセージ	この集中講義は2回に分けて実施します。まずは上記の「授業時間外の学習」に示す予習を必ず行ってください。後半に向けての宿題と指示(レポートを含む)は, 前半の最後(第8回目)に示しますので, それを必ず実行してください。		